

第 18 回 山梨県道路交通円滑化・安全委員会 議事内容

日時：平成 30 年 7 月 26 日(木)13:00~14:30

場所：KKR 甲府ニュー芙蓉 2F 広間

■委員会出席者

山梨大学工学部土木環境工学科教授

(一社)山梨県タクシー協会長

(一社)山梨県バス協会専務理事

(一社)山梨県トラック協会長

山梨経済同友会代表幹事

(一社)日本自動車連盟山梨支部事務所長

(一社)山梨県交通安全協会専務理事

山梨県交通安全母の会連合会長

山梨県警察本部交通部交通規制課長

国土交通省関東運輸局山梨運輸支局

首席運輸企画官

中日本高速道路(株)八王子支社

企画調整チーム担当リーダー

交通管制チームリーダー

甲府保全・サービスセンター所長

山梨県観光部観光企画課長

山梨県県土整備部道路整備課長

山梨県県土整備部道路管理課長

国土交通省甲府河川国道事務所長

国土交通省関東地方整備局道路部

佐々木 邦明(委員長)

雨宮 正英

中谷 晃

坂本 政彦

(代理：総務課長 山本 二三男)

入倉 要

道場 明

北村 正彦

藤江 達子

(代理：事務局 小佐野 重乃)

川口 守弘

(代理：規制管理官 伊藤 政貴)

渡邊 太郎

中岡 毅

(代理：企画調整チームサブリーダー 橋 創平)

折野 好倫

今井 猛

(代理：副所長 大谷 直広)

古谷 健一郎

清水 敬一郎

(代理：道路企画監 五味 幸仁)

小島 一男

(代理：課長補佐 水口 保一)

尾松 智

小田川 豊(オブザーバー)

■議事内容

<規約改正>

- ・委員会規約改正について

<渋滞対策>

- ・委員会の検討経緯と今回の論点
- ・渋滞対策の進捗状況確認
- ・最新の交通状況による分析
- ・渋滞対策箇所の効果確認
- ・主要渋滞箇所の見直し

- ・ 主要渋滞箇所の短期対策及び10年計画の立案
- ・ 道路利用者会議等からの渋滞対策要望箇所の検討

<交通安全対策>

- ・ 本委員会の論点
- ・ 前回委員会(第17回)の審議内容
- ・ 事故ゼロプランの進め方
- ・ 追加候補箇所の選定
- ・ 事故危険区間の事業捗状況報告
- ・ 事故ゼロプランの対策完了箇所の検討
- ・ 誤進入対策の事例紹介
- ・ 生活道路の対策の取り組み
- ・ 今後のスケジュール

■ 審議結果

● 渋滞対策関係

<決定事項>

- ・ 向町中交差点を主要渋滞箇所に追加することについて了承を得た。

<議事内容>

【質問・意見】

- ・ 国道20号の向町二交差点と同様に、右折車両の滞留による直進交通阻害している箇所がないか調査をお願いしたい。

【事務局回答】

- ・ 他の主要渋滞箇所についても同様に左折レーンの延伸等、用地買収を必要としない範囲で対応可能な短期対策を、引き続き検討していきたい。

【質問・意見】

- ・ 最近、甲府商工会議所前の通りが混雑している。おそらく城東バイパス(国道411号バイパス)に繋がる道路が途中で切れており、そこから甲府商工会議所前の通りに迂回する車が増え、交通渋滞が発生している認識がある。今後、城東バイパスが繋がった場合にさらに渋滞する懸念があるが、対策は考えられているか。

【事務局回答】

- ・ 状況を確認する。

● 交通安全対策関係

<決定事項>

- ・ 追加候補箇所の選定について、原案どおり了承された。
- ・ 対策実施済箇所の事故危険区間の対策完了判定について、原案どおり了承された。

<議事内容>

【質問】

- ・2020年のオリンピック・パラリンピックの自転車競技のコースとして、山中湖、道志周辺の国道138号、413号が決定しており、観光客や選手の訪問が増えると考えられる。国道を管理する国として、注意看板等の事故防止の対策を行っていただけるのか。
- ・山梨県の交通事故多発区間については、県内向けのパンフレットを確認し、日頃の事故防止に努めている。県外からの流入者に対しても周知する必要があると考えているが、関東周辺へも周知できないものか。

【事務局回答】

- ・国道413号は県管理の区間であり、事故が多いことは把握している。県としては現在できる対策を検討中である。交通管理者である警察と協力し、それぞれできる対策を行っていききたい。
- ・自転車対策については、国の方で行っている対策を紹介させていただく。山中湖畔周辺はもともと自転車が多く、国道138号では自転車歩行者道の整備を進めている。
- ・一方、競技用の自転車の方は車道を通ることが多いため、国道138号、139号に対しては、路肩への矢羽根表示による対策を行っており、自動車が路肩をあけて走行するようになる効果が得られている。今後オリンピックまでに、対策区間を広げていきたい。
- ・周辺への周知方法に関しては、ホームページ等で公表するなどの方法をとっているが、今後、より広く周知する方法について、県も含めて検討していきたい。

(委員会の状況)

